

# ■自然と人々とのふれあい体験を通して心豊かな老西っ子を育成

## (老上西学区地域協働合校推進事業)

### 1 【活動の趣旨】

自然とのふれあい、地域の人々とのふれあいを深め、体験・経験学習により、子どもの心体の健全育成を実践する。

### 2 【特徴的な活動内容】

#### ○「わんぱくプラザ老上西・野外体験活動」

子どもたちを対象に、自然体験学習を行った。  
里芋植え・ゴーヤの種まきから植付けを行い、  
今年はさつまいもの栽培にも取り組んだ。

実施日 6月11日(土) 参加者 子ども25名  
大人 21名



【さつまいも植付け】

#### ○「宿泊自然体験 IN 曾爾高原(奈良)」

老上西小学校の児童(4年生～6年生)を対象に、国立曾爾青少年自然の家を利用して、自然とのふれあいを深め、豊かな心を養い、宿泊生活を経験することで、集団生活のルール的重要性を理解し、自分の役割を果たす体験ができた。

日中は、高原を散策し同じ目的に向かう協働の心と忍耐力を培うとともに、登山を通して自然に親しみ、自然を愛する心情を養った。夜には専門家の指導により星座などを観察し、星座に対する関心を高め、星空から豊かな自然を感じる心を育てる事ができた。実施日10月15日(土)～10月16日(日)



【宿泊体験 曾爾高原】

#### ○「新春書初め大会」

小学校児童及び保護者と老上西学区住民を対象に、伝統文化の書初めを通して、子どもの健全な心身育成と豊かな心を養う事ができた。全ての作品はまちづくりセンターのサロンで2月末まで展示を行い、広く地域住民の皆さんに鑑賞していただく事ができた。実施日1月7日(土)



【新春書初め大会】

### 3 【実施に当たっての工夫】

コロナ禍で事業開催にあたり、屋内外を問わず感染予防対策に最重点を置きながら実施した。各活動では、それぞれの専門知識を持った方々に指導を受ける事ができた。

### 4 【事業の成果】

全ての事業で参加者及び実行委員やサポーターからは、計画通りの達成感を得られたと感じられた。また、事業参加者からの新型コロナウイルス感染の報告がなかったことに安堵した。

### 5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

実行委員やサポーターの減少が危惧される。次世代の方々の事業への参画を目指して、広く参加者を求めていきたい。